

最初の一歩を、ともに。



NPO法人 イリアス

関係機関向け 設立説明資料

非営利活動法人

イリアス illias

社会的孤立を防ぎ、誰もが自分らしく生きられる未来へ。
学習・心理・福祉を統合した新しい支援のカタチ。



学習支援



心理サポート



福祉連携



ICT活用

DATE

2025年11月

Agenda

目次

本日のプレゼンテーションの流れをご案内します。
設立の背景から、具体的な事業内容、
そして今後の展望についてご説明いたします。

INTRODUCTION

- 01 設立の背景(1) 病気と孤立
- 02 設立の背景(2) ネットでの出会い
- 03 設立の背景(3) 設立への想い
- 04 団体概要 名称・ミッション

OUR SERVICES

- 05 事業(1) 学習支援・教育格差解消
- 06 事業(2) 心理的サポート

- 07 事業(3) 情報提供・福祉支援案内
- 08 事業(4) 文化・芸術活動支援

ORGANIZATION

- 09 その他の収益事業
- 10 会員制度
- 11 特徴・強み／今後の展開



FOUNDER'S STORY

病気と孤立。 見えなくなった未来

これからどう生きて
いけばいいのか。
その答えすら
見えない状況でした。



難病発覚



社会的分断



孤独感

01

✚ 突然の病名宣告と不安

高校卒業後まもなく体調不良が続き、原因が分からない時期を経て、20歳になったばかりの頃に緊急入院。「難病」であると告げられました。突然突きつけられた病名と、将来への計り知れない不安に押しつぶされそうになり、「当たり前の日常」が一瞬にして崩れ去る感覚を味わいました。

02

🚫 生活の変化と制約

退院後、一見して日常に戻ったかのように見えましたが、食事や生活リズムなど、気をつけなければならないことが激増しました。以前のように友人と無邪気に遊ぶことも、自由に活動することもできなくなり、自分だけが取り残されていくような焦燥感に苛まれました。

03

leftrightarrow 孤立の深まり

体調の問題は就職活動にも大きな影を落としました。自發的に動くことが苦手だったことも重なり、次第に社会との距離が広がっていきました。「このまま一人で生きていくのはつらい」という孤独感が、日々重くのしかかるようになりました。



FOUNDER'S STORY

繋がりが生んだ 希望と現実の発見

「顔も知らない人たちとの交流は、ありのままの自分でいられる唯一の場所になりました。」



ネットの交流



可能性の発見



支援の乖離

01

▢ ネット上で得た新しい世界

ネット上のコミュニティが心の拠り所となり、現実のしがらみから離れて挑戦できたことで、自分でも気づかなかった能力や「自分にもできることがある」という希望を見つけました。

一方で、ネット特有の危険性や情報リテラシーの重要性も同時に痛感する場でもありました。

02

💔 出会った“生きづらさ”

交流の中で、若くして親を亡くし、ネグレクトに近い環境に置かれている若者など、深刻な状況にある人々と出会いました。

彼らは現状を抜け出す術を知らず、精神的に不安定になり、ネット上でもトラブルを繰り返してしまう悪循環に陥っていました。

03

🔍 支援が必要な人ほどつながらない現実

社会には支援制度が存在しても、「どう使えばいいのか」「どこに相談すればいいのか」が分からず孤立している人が非常に多いと実感しました。

最も支援を必要としている人にこそ、支援の手が届いていないという厳しい現実に直面したのです。



OUR VISION

経験を、
誰かの未来を
支える力に。

同じように困っている人に、
自分が感じた“救い”と
“最初の一歩”を届けたい。



安心



ツール



自立

01

💡 原体験からの決意

病気・孤立・不安のどん底を経験した私自身が、ネットを通じて知識・人脈・救いを得たからこそ、「同じように苦しんでいる人たちにも、その可能性を届けたい」という強い使命感が生まれました。

02

📱 スマホアプリという解決策

スマホひとつしか持たない若者でも、アプリを通じて「支援情報へのアクセス」「状況の整理」「心理的な安心」を得られるように。そして、それが「就職・自立」への道しるべとなり、適切なリテラシーを育む場となることを目指します。

03

🤝 支援が届きにくい場所へ

既存の支援制度からこぼれ落ちてしまう人々へ、私たちの方から手を伸ばす。イリアスは、自分の力だけでは動き出せない状況にある人に、未来への可能性と「最初の一歩」を提供する団体でありたいと考えています。



団体概要

社会的孤立を防ぎ、持続可能な社会づくりに寄与するための組織基盤



団体名称

IDENTITY

正式名称

**特定非営利活動法人
イリアス** (Ilias)

キャッチコピー

「最初の一歩を、ともに。」



目的（ミッション）

MISSION

多様な背景を持つ人々に対して、学習支援・心理的サポート・情報提供を行い、誰もが安心して生きられる社会基盤をつくります。

- ✓ 社会的孤立の防止
- ✓ 教育格差の解消
- ✓ 心理的安全性の向上
- ✓ 持続可能な社会づくり



主な対象者

TARGET AUDIENCE



子ども・若年層



障がいのある方



アーティスト・表現者



精神的に自立が難しい方



SERVICE 01



学習支援・ 教育格差解消事業

場所や環境を選ばず、
手のひらから未来を拓く
学びの機会を提供します。

主な提供内容



スマホ完結型学習アプリの提供

PCやタブレットがない環境でも、スマートフォン一台で質の高い学習教材にアクセスできるプラットフォームを開発・提供。



基礎学習・デジタルリテラシー支援

学び直しのための基礎コンテンツに加え、現代社会で必須となる情報の取り扱い方やデジタルリテラシーの習得をサポート。



就職活動スキル学習コンテンツ

履歴書の書き方、面接マナー、ビジネスメールなど、就労への第一歩を踏み出すための実践的なスキルセットを提供。

期待される効果

✓ 教育格差の縮小

✓ 学習継続の促進

✓ 就労準備性の向上



SERVICE 02



心理的サポート・ コミュニケーション 支援事業

ひとりで抱え込まず、
安心して頼れる場所と
心のつながりを届けます。

❶ 主な提供内容



心理的に不安定な若者への相談案内

不安や悩みを抱える若者が、気軽にアクセスできる相談窓口の案内や、適切な専門機関への橋渡しを行い、早期のケアを実現します。



メンタルヘルスに関する情報発信

心の不調への対処法やセルフケアの知識、利用可能な制度など、メンタルヘルスに関する正しい情報を分かりやすく発信します。



生きづらさを抱える方の交流の場づくり

同じような悩みを抱える人同士が、互いの経験を共有し、否定されずに安心して過ごせるオンライン・オフラインの居場所を提供します。

❷ 期待される効果

✓ 心理的安全性の向上

✓ 孤立の予防

✓ 早期の相談・受援行動促進



SERVICE 03



i

情報提供・ 福祉支援案内事業

複雑な支援制度への架け橋となり
必要なサービスへ迷わず辿り着ける
「地図」を提供します。

主な提供内容



公的支援・地域福祉サービスの紹介

利用可能な制度や地域の福祉サービスを分かりやすく整理し、申請方法や窓口情報へのアクセスをサポートします。



行政・支援団体のガイド作成

自立支援につながる行政機関や他のNPO団体等の情報を集約し、困りごとの種類に応じた適切な相談先をガイドします。



孤立予防のためのナビゲーション

精神的・社会的に孤立しやすい人々に対し、適切な支援リソースへの道筋（ナビゲーション）を示し、早期接続を促します。

期待される効果

✓ 必要な支援への早期接続

✓ ミスマッチの軽減

✓ 自立・社会参加の促進



SERVICE 04



文化・芸術 活動支援事業

若手クリエイターの
表現する力を守り、
社会とつながる機会を創ります。

主な提供内容



若手アーティスト向け情報提供

制作場所、助成金、コンテスト情報など、創作活動の継続に不可欠な情報を集約し、若手クリエイターへ発信。



活動発信のサポート

ポートフォリオ作成のアドバイスやSNS活用支援など、作品を世の中に届けるための発信力を強化。



展示・発表の機会創出支援

オンライン展覧会の開催や協力店舗での展示など、物理的・経済的な制約を超えて作品を発表できる場を提供。

期待される効果

✓ 表現活動の継続

✓ 発表機会の拡大

✓ 創作とメンタルの両輪支援



その他の収益事業

活動の持続可能性を高め、社会との接点を広げるための事業展開。
得られた収益はすべて特定非営利活動に充当されます。



グッズ販売（物販）

イメージキャラクターを活用したオリジナルグッズの制作・販売を行います。親しみやすいデザインを通じて団体の認知度向上を図るとともに、購入による気軽な支援参加の機会を提供します。



マッチング・斡旋事業

就労を希望する若者と、理解ある企業とのマッチングを行います。単なる職業紹介にとどまらず、個々の適性や心理的状況を考慮した丁寧な接続（適正な範囲での実施）を目指します。



法令遵守と運用ルール

COMPLIANCE POLICY

- ✓ 収益事業は、本来の目的である特定非営利活動事業に支障がない範囲で実施します。
- ✓ 収益事業から生じた利益は、すべて特定非営利活動事業のために使用します。

● 支出制限に関する規定

NPO法に基づき、その他事業の支出は特定非営利活動事業の支出の1/2を超えない範囲で厳格に管理・実施いたします。

TRANSPARENCY

SUSTAINABILITY



会員制度のご案内

皆様からの会費は、子どもや若者の未来を支える活動資金として大切に活用させていただきます。

正会員

団体の運営に参加したい方



年会費

2,000 円

入会金 0円

- ✓ 総会での議決権あり
- ✓ 活動報告書の送付

賛助会員

活動を気軽に応援したい方



年会費

1,000 円

入会金 0円

- ✓ 議決権なし
- ✓ メルマガでの活動報告

法人会員

CSR活動として支援したい企業様



年会費

3,000 円

入会金 0円

- ✓ ウェブサイトへの社名掲載
- ✓ イベント等の優先案内

会費の使途について

皆様からいただいた会費は、アプリ開発費、相談対応のための人事費、サーバー維持費など、特定非営利活動事業の推進に全額活用されます。



会員向けサービスの拡充

会員限定の活動報告会や交流イベント、専門家を招いたセミナーへの優先参加枠など、会員向けの情報提供・機会創出を順次拡充してまいります。





団体の特徴・強み



スマホアプリ軸の支援

若年層が日常的に利用するスマートフォンを入口とし、心理的ハードルの低い支援アクセスを実現します。



3領域の統合的支援

学習・心理・福祉の縦割りを解消。複合的な課題に対し、ワンストップで包括的にアプローチします。



早期予防アプローチ

問題が深刻化してからの対症療法ではなく、社会的孤立や生きづらさを未然に防ぐ早期介入を重視します。



アート・文化への対応

独自の視点として、アーティストや表現者のメンタルヘルス支援と活動サポートを両輪で実施します。

今後の展開

01 アプリ開発・実証 プロトタイプ開発

年度内に学習支援・ナビゲーションアプリのプロトタイプ版を開発し、モニター利用による実証実験を開始します。

02 連携体制の構築 マルチセクター連携

行政・学校・医療機関・他のNPO等とのネットワークを構築し、相談窓口の相互接続体制を整備します。

03 基盤強化 パートナー募集

活動を支える正会員・賛助会員・法人パートナーを広く募集し、中長期的な資金計画と組織基盤を確立します。

04 事業評価 評価枠組みの整備

学習継続率、相談接続率、利用者満足度などの定量的・定性的な到達指標（KPI）を設定し、PDCAを回します。